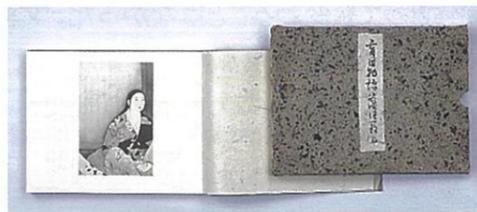


2026年度 展示スケジュール

春の 「暗闇の谷崎潤一郎～闇を愛した文豪～」 特別展 会期 3月14日(土)～6月7日(日)

谷崎潤一郎は、「暗闇の文豪」でもあった。その生い立ちを包み込むように息づいていた、「江戸の闇」。やがて、その郷愁の暗闇とも重なり合いながら、明るすぎる近代の粗野な光に抗する伝統の闇の美が、文豪の作品世界に浮上してくる。「盲目物語」、「春琴抄」、そして「陰翳礼讃」…。闇を焦点とする傑作をはじめ、文豪谷崎に潜むさまざまな暗闇を、そっと照らしてみる。

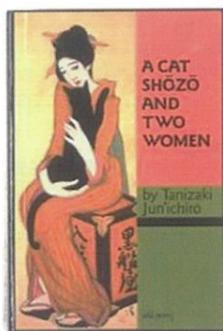


『盲目物語』

夏の 「翻訳書の・海を渡れ」(仮) 特設展 会期 6月13日(土)～9月6日(日)

谷崎作品の翻訳書、読むのはやはり至難の業。せめて、その装丁に表れたお国柄、日本ではなかなかお目にかかれない、ユニークで斬新な色使いやデザインを理屈抜きで楽しもう。そこからはまた、外から見た「日本」や「谷崎潤一郎」のイメージが、おのずと伝わってくる筈だ。そして、そんな翻訳書の装丁の世界と本家日本語による谷崎作品の世界とは、共鳴するのか、すれ違うのか、はたまたぶつかり合ってしまうのか…。さあ、渡ろう、翻訳書の華やぐ海を。

★文豪谷崎潤一郎の人生とその作品世界を、初版本や肉筆書簡・遺愛の品々等、多様な資料によって年代順にわかりやすく展示する通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設。



英語訳『猫と庄造と二人のおんな』

秋の 「1936年秋・「細雪」開幕。～90年の物語～」(仮) 特別展 会期 9月12日(土)～12月6日(日)

文豪谷崎潤一郎の不朽の名作「細雪」。物語の開幕は、秋晴れの日曜日だ。知人宅での音楽会に招待された芦屋の女たちは、化粧や衣装えらびに忙しい。帰りは神戸で夕食と映画。お留守番の子供へのおみやげは、電気仕掛けの玩具である。その秋は、1936年の秋。それから90年の今年の秋、その「平穏さ」「豊かさ」「美しさ」は、今こそ受け継がれていくべき価値なのではないかと思わせる。そんな「90年の物語」、「細雪」の普遍性の秘密に迫る。



『細雪』の雪子のモデル重子愛用の羽織

冬の 「検閲からの逃走」(仮) 特設展 会期 12月12日(土)～2027年3月7日(日)

検閲——。制度化されたあからさまなものもあれば、暗々裏に力を振うそれもある。戦前戦中はいうに及ばず、表現の自由の今の世も、やはり何がしかの形でそれは生き延び、さまざまな創作活動にとって避け難いしがらみであり続けている。そして、その事情は、作家谷崎潤一郎にとっても変わることはなかった。文豪谷崎とその作品世界に、検閲さらには発禁という視点から光をあてる。



『鍵』初版本

★文豪谷崎潤一郎の人生とその作品世界を、初版本や肉筆書簡・遺愛の品々等、多様な資料によって年代順にわかりやすく展示する通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設。

2026年度 展示予定 *展示名は、変更する可能性があります

	3月	4月	5月	6月	展示入替期間	6月	7月	8月	9月	展示入替期間
展示	春の特別展 「暗闇の谷崎潤一郎～闇を愛した文豪～」				展示入替期間	夏の特設展 「翻訳書の・海を渡れ」(仮) 通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設				展示入替期間
期間	3月14日(土)～6月7日(日)					6月13日(土)～9月6日(日)				
	9月	10月	11月	12月	展示入替期間	12月	2027年1月	2月	3月	展示入替期間
展示	秋の特別展 「1936年秋・「細雪」開幕。～90年の物語～」(仮)				展示入替期間	冬の特設展 「検閲からの逃走」(仮) 通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設				展示入替期間
期間	9月12日(土)～12月6日(日)					12月12日(土)～2027年3月7日(日)				

- 開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝休日にあたる時は、その翌平日) 年末年始(12/28～1/4)、展示入替期間
- 観覧料 特別展 一般600円 大高生400円 中学生以下は無料
- ◎団体料金(20人以上)は2割引
- ◎高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方、ならびにその介護の方1人は半額
- ◎観覧料は展示によって異なります

芦屋市谷崎潤一郎記念館

Tanizaki Junichiro Memorial Museum of Literature, Ashiya

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12番15号

TEL. 0797-23-5852 FAX. 0797-38-3244

e-mail ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp

ホームページ <https://www.tanizakikan.com/>



交通

徒歩 阪神芦屋駅から南東へ15分

バス ・阪急芦屋川駅
・JR芦屋駅
・阪神芦屋駅

いずれも「緑町」下車、東へ徒歩1分

駐車場 隣の美術博物館20台、図書館47台